

西条領と天領



小林集会所の前に、二本の石柱が立っている。半分埋まっているが、西側のものは「従是東 西条領」、東側のものは「従是西 西条領」と書かれている。

江戸時代の領地の境界を示す碑である。旧道沿いの村の境にあったものをここに移築したものであろう。西条誌の小林村の項にも「境石 二か所、当村東、御料中村境、当村西、御料中村境にあり」とある。

江戸時代、小林村は、西条領。小林村を囲む中村と北に位置する藤原村は天領であった。